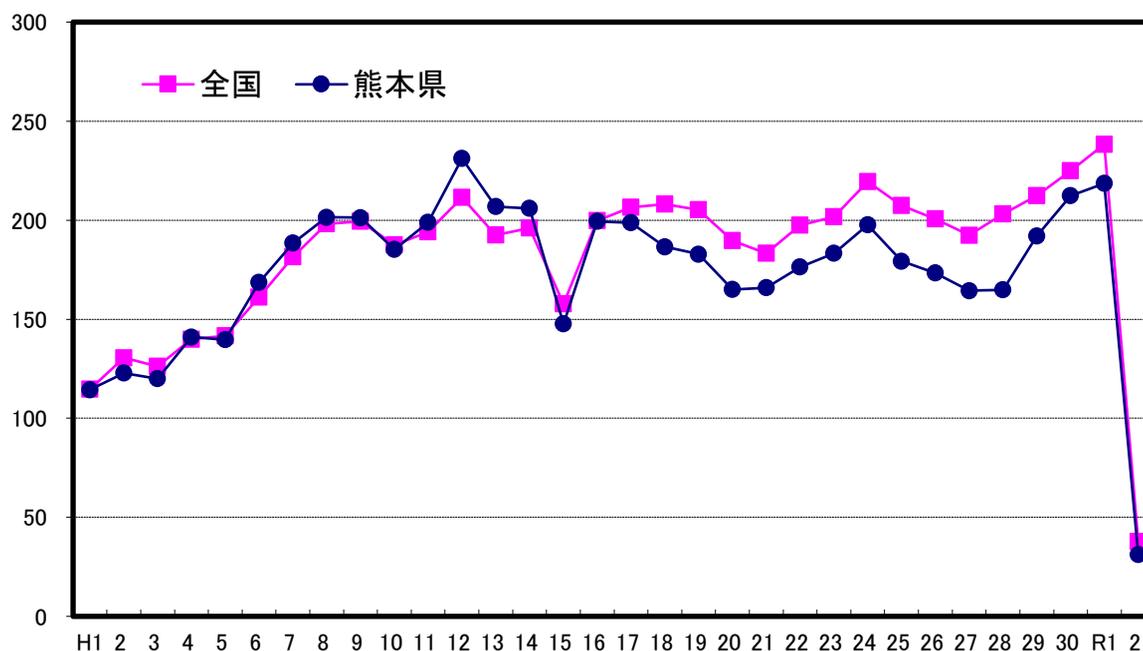


海外渡航者数の推移(昭和63年=100)



解 説

【概要】

令和2年の本県の海外渡航者数は、21,596人となり、前年に比べ129,781人減（97.6%減）となった。全国では3,174,219人となっており、前年比94.5%の減少であった。

平成元年からの推移をみると、平成12年頃までは概ね順調に伸びていたが、平成13年（世界同時多発テロ）と平成15年（イラク戦争等）に減少した。平成16年にはほぼ従来水準まで回復したが、平成20年にかけて減少した。平成21年から上昇に転じていたが、平成25年から27年にかけては、円安の進行等を背景に減少した。平成29年は平成28年の熊本地震後の復興に伴い大きく伸びた。令和2年は、各国の新型コロナウイルス対策の影響により大きく落ち込んだ。

また、令和2年の1年間の旅券発行件数は10,580件で対前年比82.7%減となり、前年の45,392件から34,812件減少した。

○海外渡航者数

調査年1年間における出国日本人数であるが、全国計には外国に住所がある日本人及び不詳者を含むため、都道府県分の合計とは一致しない。

○千人当たり海外渡航者数

出国者数÷（総務省統計局「国勢調査」に基づく令和2年10月1日現在人口）÷1,000

○一般旅券発行件数

一般旅券発給、再発給の申請に基づき旅券を発行した件数で、後日取り下げたもの及び本人が受給しなかったものも含んでいる。

資料 出 所	調 査 期 日	調査周期
*1、*2、*3「出入国管理統計」 法務省出入国在留管理庁 *4「旅券統計」 外務省	令和2年 令和2年	毎年 毎年